

地域の学び舎

小城市立

み か つき

三日月小学校

創立 明治8(1875)年

児童生徒数 813名(男子426名、女子387名)

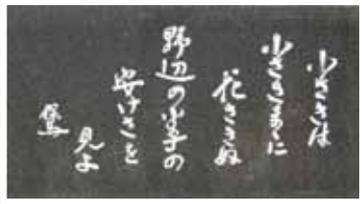
学校教育目標

心豊かな 賢く たくましい子どもの育成

目指す子ども像

～夢・希望に向かって
チャレンジする子ども～

- み みずから学ぶ子ども
- か かんがえて行動する子ども
- つ つよい体・たくましい心の子とも
- き きれいなふるさとを愛する子ども



▲高田保馬博士の句碑

主な行事・事業

- ◆親子行事で楽しむ「三日月デー」
- ◆学年ごとに学習やがんばりを発表する「なかよし集会」
- ◆クラスで鍛え競い合う「ながなわ集会」。6年生の長縄跳びのレベルはとて高いです。
- ◆地域や企業の方の協力で取り組む5年生の「大豆作り」。作った大豆で、豆腐や納豆を作ります。

三日月小学校 校歌

一、三日月町は 広い町
共に生まれた 私たち
歴史の長い 学校で
強く 仲よく学びましょう

二、育て下さる 先生の
教えいっばい 身につけて
一人一人の 人間に
自分を鍛え 上げましょう

三、足を大地に ふみ固め
空まで若き 手を伸ばし
体元気に たましいは
正義の熱に 燃えましょう

四、いすれ世の為 国の為
ただ真黒に 働いて
身の幸福を つくります
父母の町 忘れず



学校の特色や特長

- 【地域のじまん】
○かつて「米作り日本一」と言われた田園が広がる農村地帯です。自然が豊かで、素朴でのびのびした風土の中で子どもたちは育っています。高田保馬博士(経済学者、歌人)の出身地です。
- 【児童・学校のじまん】
○児童数が小城市内でも一番多く、勉強やスポーツなどの様々な面で活躍している子どもがたくさんいます。
○無邪気で好奇心が強い子どもが多く、のびのびした雰囲気の学校です。
○三日月中学校と隣り合わせになっており、小学校と中学校が小中一貫校のように連携・協力して、教育活動を行っています。中学生と小学生が仲良く、中学生の姿を目標にして小学校生活を頑張っています。
○高田保馬博士の句碑があります。そこには「小さきは 小さきままに 花さきぬ 野辺の小草の 安けさを見よ」と書かれており、毎日、句碑を見ながら登校しています。校歌の詞も博士に作って頂きました。博士を目標に勉強・スポーツにがんばっています。

編集後記

今年も早いものでもう二月となった。暦の上では立春を迎え、もう春はすぐそこまで来ているが三寒四温をくり返しながら着実に暖かくなるだろう。春は卒業や進級・入学、移動や転勤のシーズン。本人はもとより、家族にも色々な別れや出会いがあるだろう。

小城市議会において、3月議会は、平成27年度の予算の審議を行う。市民の方の生活に直接関わる部分や教育・産業・インフラ整備などに使われる予算や、年々増え続けている社会保障費など多岐にわたるが、なるべく少ないお金で、なるべく大きな効果を出せるよう慎重な議論を進めていきたい。

(西)

委員長 富永 正樹
副委員長 光岡 実
委員 江島佐知子
西 正博
永 和正
松並 陽一